

よくかんで、よくたべる!

2026年度予算特集号!

年明けの突然の解散総選挙があり、国会がなかなか開かれず国の予算が年度内で決まらないのでは...と懸念された1月・2月を経て、3月。杉並区も含め、基礎自治体の事業は国の交付金や東京都の支出金でまかなわれているものも多いので、国の予算は先に決めてもらいたいところですが、国会と同時進行になる形で区の予算審議を行ないました。

また、年明けに党派構成が変わり、立憲民主党杉並区議団は5人になりました。ポトムアップで声が届く政治、立憲主義に基づいて日本国憲法の理念を大事に実現するための政治、この基本を崩すことなく、これからも杉並の地域課題にチームで取り組んでいきます。

今回お届けするのは、



デフリンピックの応援イベントにて、なみすけと。

04 03 02 01

来年度予算について詳しく「共生」を考える視察 保健福祉委員会 お知らせ

来年度予算について詳しく



最新情報はコチラ https://teraharu.com/

インクルーシブ教育

～当たり前と一緒に学ぶ教室のつくり方～



戦後すぐから、どの子も一緒に学ぶことに重きが置かれてきた大阪の学校。子ども同士の関係を壊さない大人の見守りと、学びをサポートする人的・物的な環境調整は、揺らぐことなく続いていました。

場所：大阪市役所、豊中市立少路小学校

杉並区では新たな特別支援学級の設置を求める声もありますが、常に部屋を分けるのではないにも学べる環境整備を、大いに参考にしていきたいと思います。



「生きる」教育

～目の前の虐待、性暴力から子どもを守る先生たちの奮闘～



目の前の子どもの命と生きていく力を守り育てるためにできることをしなければ!と熱い思いで研究を重ねられてきた、性・生教育。自分の心や体に素直に向き合える安心をつくること、言葉で思いや考えを伝える力をつけることを大事に、学校での実践を通して教育体系が作られてきました。

場所：大阪市立田島南小中一貫校(田島小、生野南小、田島中が統合)

自分も相手も大事にできる人になる学びは、教科の枠を超えてこの先を生きていく力になるので、杉並の教育研究にも活かしたいですね。



多文化共生拠点

～地域の人がみんなで育む居場所とつながり～



生野区は元々在日コリアンが人口の半分を占める地域でしたが、2010年代以降はアジア系の住民が増えて多言語での情報共有などがより必要になってきたことも踏まえ、日本語を学んだり文化交流を通してお互いを知り合う機会をもつ拠点が求められていました。「受け入れ」ではなく「ともに生きる」ために学校跡地の活用を手を上げた民間団体の熱意がありました。

場所：いくの・コーライプス・パーク(御幸森小学校跡地を活用)

地域で活動してきた市民団体が事業提案をして立ち上げた拠点での学びを、今年これから杉並区でつくる多文化共生拠点での取り組みに活かしていきます。



にほんこくけんぼうってしってる?

1945ねん にほんは せんそうに まけた。アジアのくにのひとたちを たくさん しなせたことや、けんしほくだんを おとされるまで、せんそうを やめられなかったことを、にほんのひとは みんなで はんせいした。そして、もうこれからは「せんそうしない」ときめた。でも、こころで おもっているだけじゃ きめたことは、まもられない。だから あたらしい けんぼうを つくった。けんぼうは、ルールや しくみを つくるときに きょうかしよう。けんぼうは、せいじを うごかす おとなたちが かつてに、せんそうを はじめないように しばっておく なわ。けんぼうは、おなじ にんげんとして いきている みんなが じゆうを まもるために つかう たて。

区政報告会のお知らせ

レポートには書ききれないこともお話しするとともに、みなさんの暮らしや望むことについてお聞きする機会でもあります。ぜひお気軽にお越しください!

4月18日(土) 13:00~15:00

@久我山会館 第1集会室 〒168-0082 東京都杉並区久我山3丁目23-20

4月22日(水) 19:00~21:00

@高井戸地域区民センター第7集会室 〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目7-5

予約不要 直接お越しください

各回定員 20名

寺田陽香 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室

1987年生まれ ▶群馬県高崎市出身 ▶高崎女子高校卒業 ▶国際基督教大学(ICU)中退 ▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)保育士 ▶好き:スケボー、お茶、茨木のり子 ▶3.11を機に、子どもたちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、市民運動に参画 ▶2023年4月、3,906票を託され初当選

070-1385-3043 teraharu.minnanomachi@gmail.com

03 保健福祉委員会 Health and Welfare Committee

賛否を決める議案6件、大きな変化のある報告12件の中から、3つをピックアップしてお伝えします。議案については、必要な条例改正と、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療に関する年度末の調整を行う補正予算だったため、すべて賛成しました。



1 堀ノ内東保育園の移転が遅れます

区立園から私立園化される最後の保育園である堀ノ内東保育園。移転先の園舎の建設が間に合わず、4月ではなく6月に移転することとなりました。それに伴い、2か月間は区立園のままの運営となるため、運営や施設管理の責任(お金も含む)は区が負うこととなります。

2 高齢者補聴器購入助成事業の見直し

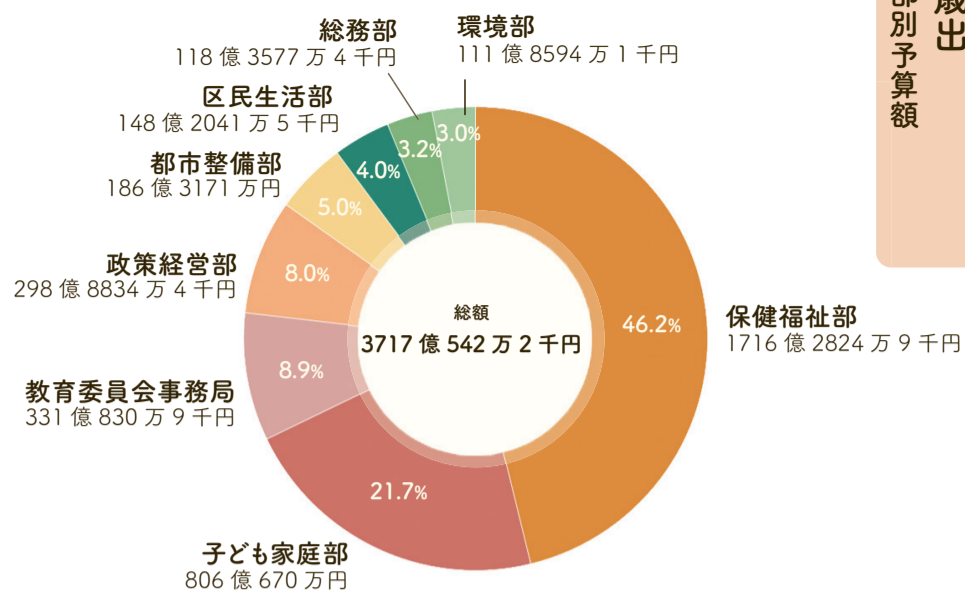
これまで区は助成してきましたが、アンケート調査などを行った結果、補聴器一つ当たりの金額に対して助成額が低いことや、聞こえの程度が年を追うことで変化することなどがわかりました。一人当たりの助成額を上げるほか、制度を利用して購入した5年後に再度申請が可能となります。

3 子育て応援券事業の利便性向上

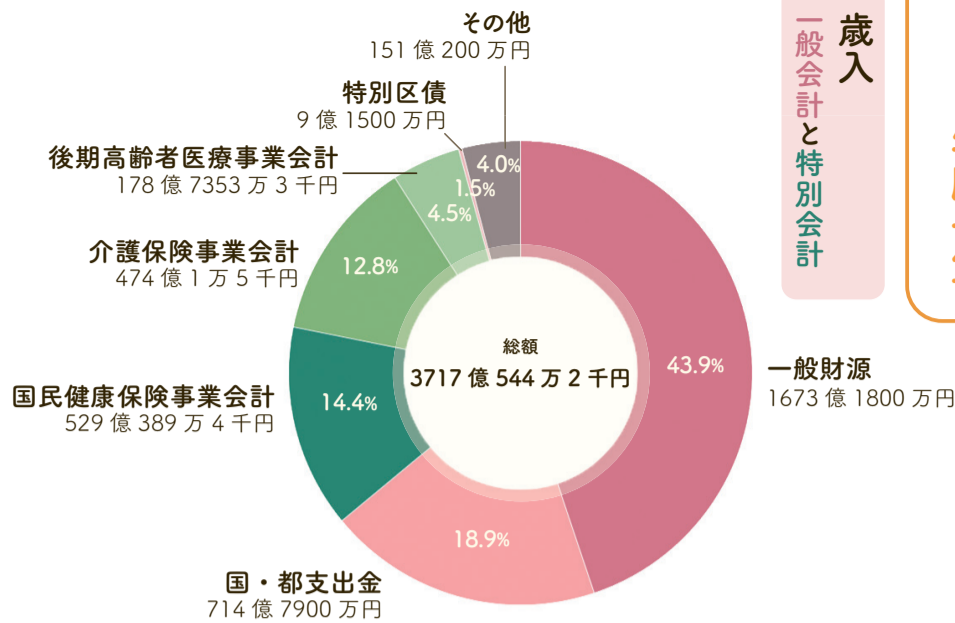
ゆりかご面接を受けた妊婦さんに付与されるゆりかご券は、その75%がタクシーの利用に使われています。そこで、産後ケアなどに使えるゆりかご券としてのポイントはそのままに、新たにタクシー移動に利用できることも商品券(東京都が全額負担)を導入しました。

PROFILE

歳出
部別予算額



歳入
一般会計と特別会計



TOPIC 2

てらほの
注目予算

多文化共生の拠点ができます
1135万円

杉並区に多文化共生基本方針ができて1年。世界情勢が不安定な中、不安や不信が偏見を生み、人と人がつながることを難しくしている社会で、お互いを知り合い、文化を交流し、共に生きていく話ができる拠点が、国際交流協会と同じ建物内により実現します。

区立児童相談所の運営が
11月からスタート

9億5692万7千円

数年かけて人員配置の仕方や施設の作り方を丁寧に検討してきた区立児童相談所が、遂に開設されます。経験者を含めた新規採用に加え、区の職員が勉強をし直して異動し、着々と安心できる体制が整えられていることが、質疑の中でも確認できました。

災害時における
母子救済所の新設

890万円

安心して授乳することや夜泣きの対応などを保障するため、二次救済所のなかに妊産婦や乳児が過ごせるスペースを確保します。妊産婦や乳児に特化した備品の整備を行い、東京都助産師会と協定を結んで支援体制を構築すること。安心が増えますね！



TOPIC 3

よとく！
予算特別委員会で
こんなこと聞きました

新年度の予算について、今年度の取組を踏まえて拡充したり廃止したりするものが本場に適正かどうか、新しい事業がどのように進められていくのか、補助金がうまく使えているかなど、区民の税金を無駄遣いしないためのチェックをしていく予算特別委員会。

私は相変わらず早口で質問を詰め込みましたが、各議員の独自の観点から質問が行われ、一問一答形式でのやりとりが魅力の予算・決算。録画配信もぜひ見えて下さい！

- 1日目 一般会計歳入全部、公債費、予備費など
- 2日目 議会費、総務費、生活経済費、職員費
- 3日目 保健福祉費、環境清掃費、国保・介護保険・後期医療
- 4日目 都市整備費、教育費

PICKUP 2日目

ジェンダー視点の主流化に向けて

- Q 昭和59年から庁内横断組織としてあった「男女共同参画推進会議」と、新しく設置される「ジェンダー平等推進本部」とは、何が違うのか？
- A 「男女共同参画推進会議」は副区長・教育長を会長・副会長として、各部の部長から構成される。「ジェンダー平等推進本部」は区長が本部長となり、以前からある本部に課長級職員で構成する部会が追加され、ジェンダー視点の主流化に向けて取り組みを加速する。
- Q 同じように要綱設置となる組織だが、新年度以降の見通しはどうなっているか。
- A 昨年の審議会答申を踏まえて、ジェンダー視点での事業点検をまずは行なっていく。

アーバンスポーツパークと防災拠点

- Q 旧杉並中継所の跡地活用について、2022年の報告では、施設の改修も含めPPP/PFIの手法を利用した民間による運営も検討されていたが、新年度の設計から先の運営主体は？
- A 検討を重ねた結果、防災拠点としての役割も大きいので、設計・建設・運営についてはすべて入札で事業者を選定し、区から設計や運営については具体的に規定して委託する。
- Q アーバンスポーツは単に点数を競うスポーツではなく、ストリートカルチャーとして音楽、アート、食などと結びついて発展してきた。文化的背景も織り込んで設計してほしい。
- A 防災拠点ということもあり文化的要素までも設計に盛り込むことは難しいが、公園に隣接する施設に若者が集うことを期待し、地域に愛される施設にしていきたい。

CHECK

その他の
新規・拡充事業

- 町会・自治会の情報伝達のデジタル化に向けたモデル事業
- 民法改正による共同親権の開始に伴い、離婚前後の家庭に対する講座の開催
- 家庭のコンポストで作った堆肥を農地で活用するモデル事業（3か年）
- 成田西第二区民農園の開設

PICKUP 3日目

学童クラブの安全と安心をつくる

- Q 学童クラブは大規模化によって、事故リスクなど目先の危険はもちろん、放課後にまで管理的な生活を強いられることになり、将来的な影響も懸念されるが、どう考えているか？
- A 待機児童対策のために新規設置もしていくが、貸室などを活用して場所を分散し、40人単位の施設になるように工夫するなど、大規模化を防ぐ対応も進めていくこととする。
- Q おやつ時間は本来とても楽しい経験であり、生活する力を身につけるうえでも重要な機会。アレルギー対応なども含め、子どもたちと食事の時間を話し合っているか？
- A アレルギー児の誤食などもあり、食事について全体でのフローを改めて統一したところではあるが、生活の一部として、子どもたちと話し合うことは促していく。

学童クラブの大規模化は、楽しみであるはずのおやつ時間も緊張感のあるものに変えてしまいます。

クラブの分散による小規模化とともに、子どもを信頼して話し合い、おやつ時間を豊かにしていく活動によって事故を防いでいく方法も模索し、一般質問などで提案していきます。



女性相談における民間団体との連携

- Q 福祉事務所と、住居の提供やメンタルケア・ピアサポートの運営などを行っている民間団体との連携は、現状ではどのようになっているか？
- A それぞれの団体の専門性を把握して区に相談に来た人に自助グループなどを案内したり、団体に相談に来た人を区が引き継いで、住居の提供や生活保護申請などを行っている。
- Q 今年度行ったアンケート調査から見えてきた課題と民間団体が行政に求めることは何だったか、そして新年度に区としてまず何を行なっていくのか？
- A 支援者間の連携や財源に課題があり、ネットワークづくりや情報共有に行政の力を貸してほしいと要望も得た。4月からはまず、各団体とさらに丁寧な意見交換を行なっていく。

質疑の動画



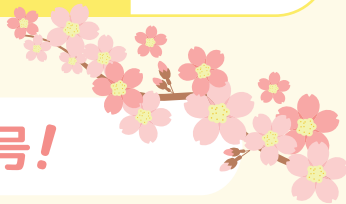
質疑の動画



よくかんで、よくたべる!



2026年度予算特集号!



年明けの突然の解散総選挙があり、国会がなかなか開かれず国の予算が年度内で決まらないのでは…と懸念された1月・2月を経て、3月。杉並区も含め、基礎自治体の事業は国の交付金や東京都の支出金でまかなわれているものも多いので、国の予算は先に決めてもらいたいところですが、国会と同時進行になる形で区の予算審議を行いました。

また、年明けに党派構成が変わり、立憲民主党杉並区議団は5人になりました。ポトムアップで声が届く政治、立憲主義に基づいて日本国憲法の理念を大事に実現するための政治、この基本を崩すことなく、これからも杉並の地域課題にチームで取り組んでいきます。



今回お届けするのは、

04 03 02 01

来年度予算について詳しく
「共生」を考える視察
保健福祉委員会
お知らせ



デフリンピックの応援イベントにて、なみすけと。

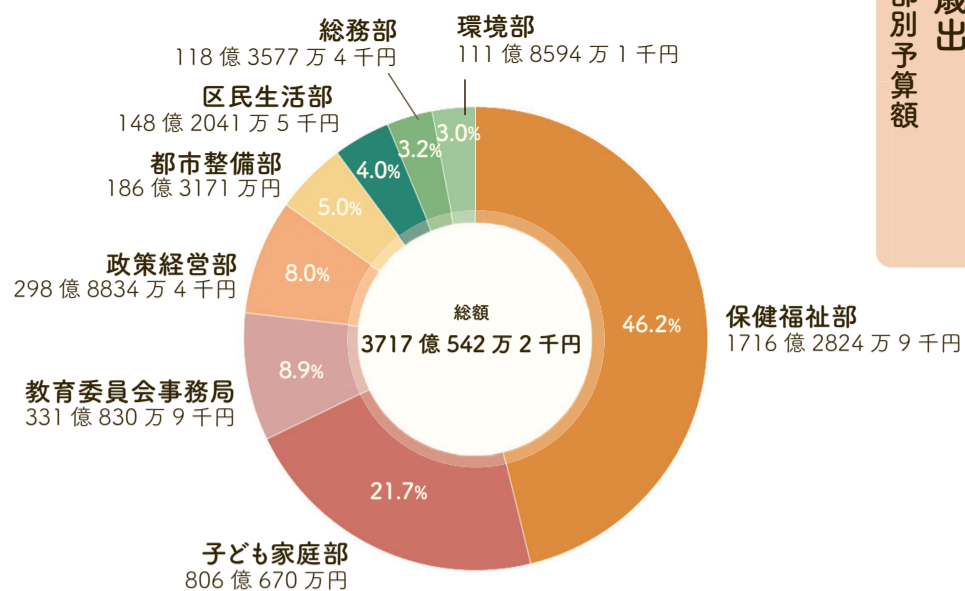
◀ 来年度予算について詳しく



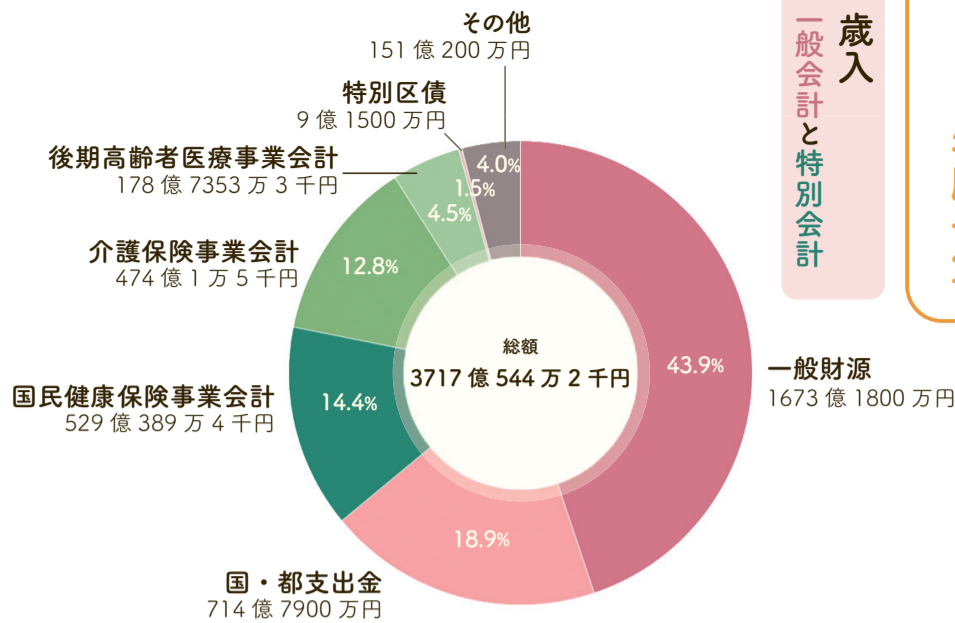
最新情報はコチラ

<https://teraharu.com/>

歳出
部別予算額



歳入
一般会計と特別会計



TOPIC 2

てらほの
注目予算

多文化共生の拠点ができます
1135万円

杉並区に多文化共生基本方針ができて1年。世界情勢が不安定な中、不安や不信が偏見を生み、人と人がつながることを難しくしている社会で、お互いを知り合い、文化を交流し、共に生きていく話ができる拠点が、国際交流協会と同じ建物内により実現します。

区立児童相談所の運営が
11月からスタート

9億5692万7千円

数年かけて人員配置の仕方や施設の作り方を丁寧に検討してきた区立児童相談所が、遂に開設されます。経験者を含めた新規採用に加え、区の職員が勉強をし直して異動し、着々と安心できる体制が整えられていることが、質疑の中でも確認できました。

災害時における
母子救済所の新設

890万円

安心して授乳することや夜泣きの対応などを保障するため、二次救済所のなかに妊産婦や乳児が過ごせるスペースを確保します。妊産婦や乳児に特化した備品の整備を行い、東京都助産師会と協定を結んで支援体制を構築すること。安心が増えますね！



TOPIC 3

よとく！
予算特別委員会で
こんなこと聞きました

新年度の予算について、今年度の取組を踏まえて拡充したり廃止したりするものが本場に適正かどうか、新しい事業がどのように進められていくのか、補助金がうまく使えているかなど、区民の税金を無駄遣いしないためのチェックをしていく予算特別委員会。

私は相変わらず早口で質問を詰め込みましたが、各議員の独自の観点から質問が行われ、一問一答形式でのやりとりが魅力の予算・決算。録画配信もぜひ見えて下さい！

- 1日目 一般会計歳入全部、公債費、予備費など
- 2日目 議会費、総務費、生活経済費、職員費
- 3日目 保健福祉費、環境清掃費、国保・介護保険・後期医療
- 4日目 都市整備費、教育費

PICKUP 2日目

ジェンダー視点の主流化に向けて

- Q 昭和59年から庁内横断組織としてあった「男女共同参画推進会議」と、新しく設置される「ジェンダー平等推進本部」とは、何が違うのか？
- A 「男女共同参画推進会議」は副区長・教育長を会長・副会長として、各部の部長から構成される。「ジェンダー平等推進本部」は区長が本部長となり、以前からある本部に課長級職員で構成する部会が追加され、ジェンダー視点の主流化に向けて取り組みを加速する。
- Q 同じように要綱設置となる組織だが、新年度以降の見通しはどうなっているか。
- A 昨年の審議会答申を踏まえて、ジェンダー視点での事業点検をまずは行なっていく。

アーバンスポーツパークと防災拠点

- Q 旧杉並中継所の跡地活用について、2022年の報告では、施設の改修も含めPPP/PFIの手法を利用した民間による運営も検討されていたが、新年度の設計から先の運営主体は？
- A 検討を重ねた結果、防災拠点としての役割も大きいので、設計・建設・運営についてはすべて入札で事業者を選定し、区から設計や運営については具体的に規定して委託する。
- Q アーバンスポーツは単に点数を競うスポーツではなく、ストリートカルチャーとして音楽、アート、食などと結びついて発展してきた。文化的背景も織り込んで設計してほしい。
- A 防災拠点ということもあり文化的要素までも設計に盛り込むことは難しいが、公園に隣接する施設に若者が集うことを期待し、地域に愛される施設にしていきたい。

CHECK

その他の
新規・拡充事業

- 町会・自治会の情報伝達のデジタル化に向けたモデル事業
- 民法改正による共同親権の開始に伴い、離婚前後の家庭に対する講座の開催
- 家庭のコンポストで作った堆肥を農地で活用するモデル事業（3か年）
- 成田西第二区民農園の開設

PICKUP 3日目

学童クラブの安全と安心をつくる

- Q 学童クラブは大規模化によって、事故リスクなど目先の危険はもちろん、放課後にまで管理的な生活を強いられることになり、将来的な影響も懸念されるが、どう考えているか？
- A 待機児童対策のために新規設置もしていくが、貸室などを活用して場所を分散し、40人単位の施設になるように工夫するなど、大規模化を防ぐ対応も進めていくこととする。
- Q おやつ時間は本来とても楽しい経験であり、生活する力を身につけるうえでも重要な機会。アレルギー対応なども含め、子どもたちと食事の時間を話し合っているか？
- A アレルギー児の誤食などもあり、食事について全体でのフローを改めて統一したところではあるが、生活の一部として、子どもたちと話し合うことは促していく。

学童クラブの大規模化は、楽しみであるはずのおやつ時間も緊張感のあるものに変えてしまいます。

クラブの分散による小規模化とともに、子どもを信頼して話し合い、おやつ時間を豊かにしていく活動によって事故を防いでいく方法も模索し、一般質問などで提案していきます。



女性相談における民間団体との連携

- Q 福祉事務所と、住居の提供やメンタルケア・ピアサポートの運営などを行っている民間団体との連携は、現状ではどのようになっているか？
- A それぞれの団体の専門性を把握して区に相談に来た人に自助グループなどを案内したり、団体に相談に来た人を区が引き継いで、住居の提供や生活保護申請などを行っている。
- Q 今年度行ったアンケート調査から見てきた課題と民間団体が行政に求めることは何だったか、そして新年度に区としてまず何を行なっていくのか？
- A 支援者間の連携や財源に課題があり、ネットワークづくりや情報共有に行政の力を貸してほしいと要望も得た。4月からはまず、各団体とさらに丁寧な意見交換を行なっていく。

質疑の動画



質疑の動画





インクルーシブ教育

～当たり前と一緒に学ぶ教室のつくり方～

戦後すぐから、どの子どもと一緒に学ぶことに重きが置かれてきた大阪の学校。子ども同士の関係を壊さない大人の見守りと、学びをサポートする人的・物的な環境調整は、揺らぐことなく続いていました。

場所：大阪府役所、豊中市立少路小学校

杉並区では新たな特別支援学級の設置を求める声もありますが、常に部屋を分けるのではないにも学べる環境整備を、大いに参考にしていきたいと思います。



「生きる」教育

～目の前の虐待、性暴力から子どもを守る先生たちの奮闘～

目の前の子どもの命と生きていく力を守り育てるためにできることをしなければ!と熱い思いで研究が重ねられてきた、性・生教育。自分の心や体に素直に向き合える安心をつくること、言葉で思いや考えを伝える力をつけることを大事に、学校での実践を通して教育体系が作られてきました。

場所：大阪府立田島南小中一貫校（田島小、生野南小、田島中が統合）

自分も相手も大事にできる人になる学びは、教科の枠を超えてこの先を生きていく力になるので、杉並の教育研究にも活かしたいですね。



多文化共生拠点

～地域の人がみんなで育む居場所とつながり～

生野区は元々在日コリアンが人口の半分を占める地域でしたが、2010年代以降はアジア系の住民が増え、多言語での情報共有などがより必要になってきたことも踏まえ、日本語を学んだり文化交流を通してお互いを知り合う機会をもつ拠点が求められていました。「受け入れ」ではなく「ともに生きる」ために学校跡地の活用に手を上げた民間団体の熱意がありました。

場所：いくの・コーライプス・パーク（御幸森小学校跡地を活用）

地域で活動してきた市民団体が事業提案をして立ち上げた拠点での学びを、今年これから杉並区でつくる多文化共生拠点での取り組みに活かしていきます。



賛否を決める議案6件、大きな変化のある報告12件の中から、3つをピックアップしてお伝えします。議案については、必要な条例改正と、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療に関する年度末の調整を行なう補正予算だったため、すべて賛成しました。

PICKUP

1 堀ノ内東保育園の移転が遅れます

区立園から私立園化される最後の保育園である堀ノ内東保育園。移転先の園舎の建設が間に合わず、4月ではなく6月に移転することとなりました。それに伴い、2か月間は区立園のままの運営となるため、運営や施設管理の責任（お金も含む）は区が負うこととなります。

PICKUP

2 高齢者補聴器購入助成事業の見直し

これまでも区は助成してきましたが、アンケート調査などを行った結果、補聴器一つ当たりの金額に対して助成額が低いことや、聞こえの程度が年を追うことで変化することなどがわかりました。一人当たりの助成額を上げるほか、制度を利用して購入した5年後に再度申請が可能となります。

PICKUP

3 子育て応援券事業の利便性向上

ゆりかご面接を受けた妊婦さんに付与されるゆりかご券は、その75%がタクシーの利用に使われています。そこで、産後ケアなどに使えるゆりかご券としてのポイントはそのままに、新たにタクシー移動に利用できることも商品券（東京都が全額負担）を導入しました。

にほんこくけんぼう って しってる？

1945ねん にほんは せんそうに まけた。
 アジアの くにの ひとたちを たくさん
 しなせたことや、げんしばくだんを おとされる
 まで せんそうを やめられなかつたことを、
 にほんのひとは みんなで はんせいした。
 そして、もうこれからは「せんそうしない」
 と きめた。

でも、こころで おもっているだけじゃ
 きめたことは まもられない。
 だから あたらしい けんぼうを つくつた。

けんぼうは、ルールや しくみを
 つくるときの きょうかしよ。
 けんぼうは、せいじを うごかす おとなたちが
 かつてに せんそうを はじめないように
 しばつておく なわ。
 けんぼうは、おなじ にんげんとして
 いきている みんなが じゆうを
 まもるために つかう たて。

にほんには 80ねんかん、せんそうで
 しんだひとが ひとりも いない。
 それは、「せんそうしない」ために つくつた
 けんぼうを みんなが だいに
 してきたから だね。

● 区政報告会のお知らせ

レポートには書ききれないことも
 お話するとともに、みなさんの
 暮らしや望むことについてお聞き
 する機会でもあります。ぜひお気軽
 にお越しください！

予約不要
 直接お越し
 ください

各回定員
 20名

4月18日(土) 13:00~15:00

@久我山会館 第1集会室

〒168-0082 東京都杉並区久我山3丁目23-20

4月22日(水) 19:00~21:00

@高井戸地域区民センター第7集会室

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目7-5

PROFILE



寺田陽香
 てらだはるか

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
 区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室

▶1987年生まれ ▶群馬県高崎市出身 ▶高崎女子高校卒業
 ▶国際基督教大学(ICU)中退 ▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)
 保育士 ▶好き: スケボー、お茶、茨木のり子 ▶3.11を機に、子ども
 たちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、
 市民運動に参画 ▶2023年4月、3,906票を託され初当選

☎070-1385-3043

✉teraharu.minnanomachi@gmail.com